

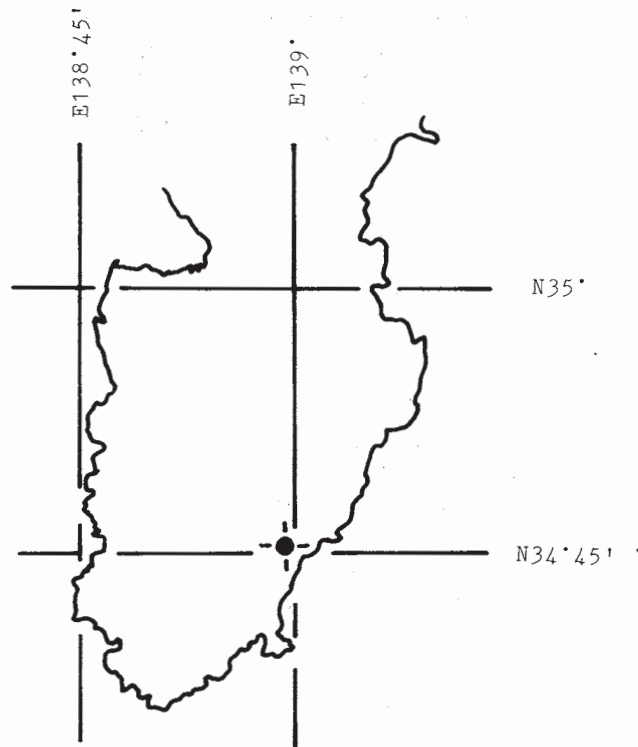
## 4 - 10 河津における AE 観測

### AE Activity Observed at KAWAZU

北海道大学 理学部

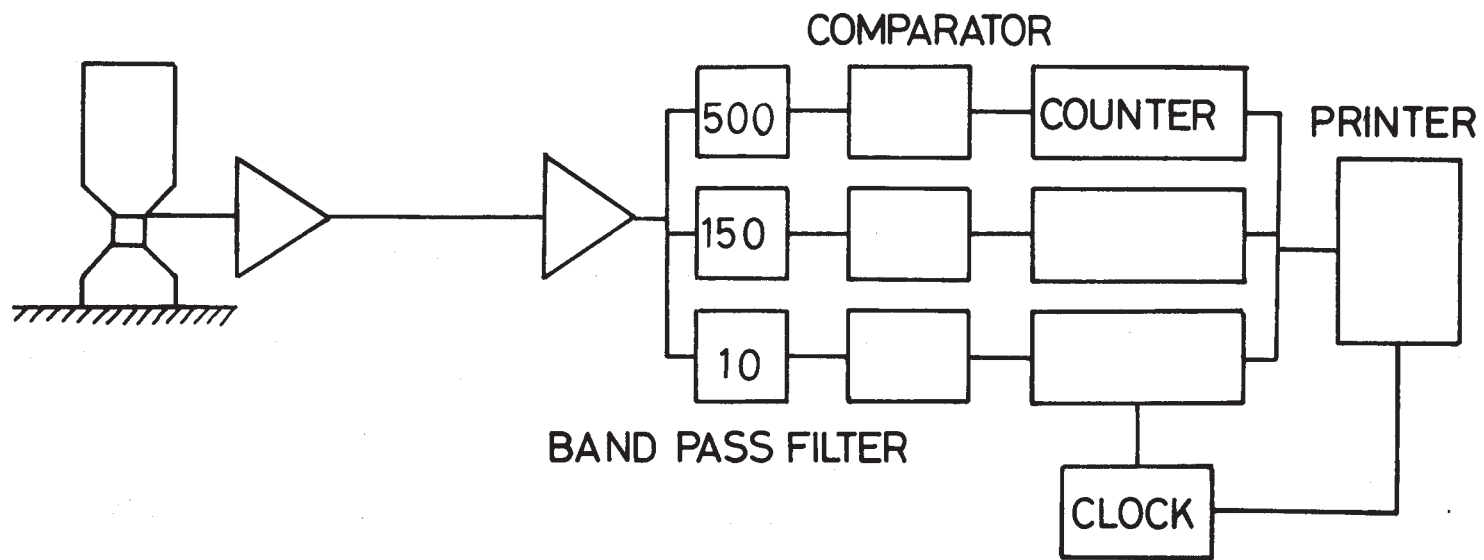
Faculty of Science, Hokkaido University

1981年5月から伊豆半島河津町（第1図）において短周期振動（AE）の観測を行ってきた。観測は高感度（分離能  $5 \mu \text{gal}$ ）の圧電型加速度計を用い、その出力を10, 150及び500Hzの周波数に分け、それぞれについて時間毎の振動回数を計数記録する（第2図）という形で行われた。設置場所は採石トンネル内である。センサや記録計の不都合により観測は完全に連続というわけではない。観測実日数450日程の間で今回初めて伊豆半島近傍の地震活動に時間的に符合するAE活動が観測された。500Hzでの計数値を第3図に示す。設置場所の関係上、昼間のデータは人工的振動を多く含んでいる。AEの活動を見易くする為に第3図では作業時間（図中 $\leftrightarrow$ の部分）以外のデータを黒く塗りつぶしてある。第3図上の気象庁による地震活動の観測結果と見比べると、AEの活動が地震活動の前期に集中していることがわかる。



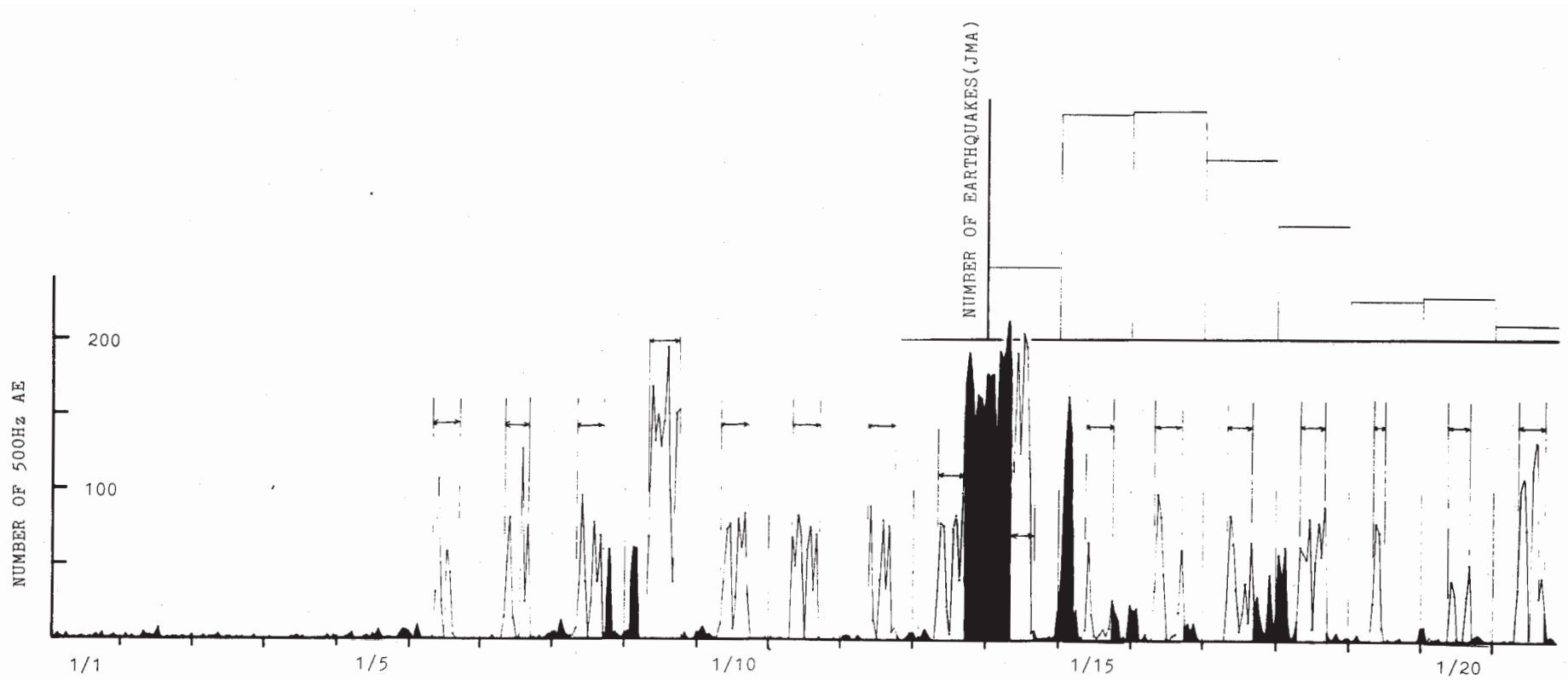
第1図 AEの観測点位置

Fig. 1 Location of AE observation site.



第2図 観測システム

Fig. 2 Block diagram of the observation system.



第3図 500HzのAEの活動と鎌田における地震活動

Fig. 3 Activity of AE with frequency 500Hz, and that of EQ observed at KAMATA (by JMA).